

【注意】2023年用申込書以外での申込みは受付できません。
(両面印刷せず、A4サイズで片面印刷してください)

【業種/通信工事業】

(書式1の記入例)

2023年 8月 5日

写真貼付位置
①申込本人のみ
(カラーふちなし)
②6ヶ月以内に撮影
③縦3.0cm 横2.4cm
※免許証サイズ
④正面无帽無背景

デジタル写真を使用するときは、写真用光沢紙を
使用してカラープリントして下さい。
講習修了証の証明写真になります。

受講(受験)申込書

整理番号	記入必要なし
受講番号	

受講者	フリガナ	デンシン ジロウ	性別	男・女
	氏名	電信 次郎	生年月日	昭和・平成 記入間違い多数!
	市町村番地	〒 338-0835 さいたま市桜区道場市 5-3-15	都道府県	埼玉県
	電話番号	080-2222-2222	マンション名 部屋番号	マンションの場合必ず記入
勤務先	フリガナ	ミライツウシン	フリガナ	トウキョウシテン
	会社名	(株)未来通信	支店・支社	東京支店
	住所	〒 107-0011 東京都港区芝公園 4-2-8	電話番号	03-0110-0119
	電話番号	03-0110-0119	FAX番号	03-0110-0117
連絡先	メール	densin@miraituusin.co.jp	常に連絡がとれるアドレスを記入	
第一種電気工事士	資格	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和	都道府県	埼玉
	取得年	15年	登録番号	11111
申請する建設業の種類	1業種のみ申請		2業種ともに申請	
	<input type="checkbox"/> 電気工事業 実務経験年数 年 (職長 年)	<input checked="" type="checkbox"/> 電気通信工事業 実務経験年数 14年 (職長 6年)	<input type="checkbox"/> 電気工事業 実務経験年数 年(職長 年) <input type="checkbox"/> 電気通信工事業 実務経験年数 年(職長 年)	
	希望会場	第1希望	埼玉 会場	第2希望(注3) 会場

月(書式8)を提出して下さい。

- ・電気通信工事業のみを10年以上記入
- ・「職長教育修了証」交付日から講習申込日までに3年以上か確認
書式4 実務経験年数合計と一致の年数を記入

記入上の注意

- 受講票とテキストは受講者の自宅に届きます。
- 申請する建設業の種類
申請する建設業の種類にレ点を記入してください。
該当の建設業の現場施工業務に従事した実務経験年数の合計と、うち職長として従事した経験年数の合計を記入して下さい。(書式4の実務経験年数合計)
実務経験は10年以上であること。職長年数は、労働安全衛生法第60条による建設業の職長教育修了後の現場施工業務に職長として従事した年数の合計が3年以上であること。
実務経験年数の内訳を「実務経験証明書(書式2~4)」に記載して下さい。
- 第2希望会場は受講可能な会場がある場合のみ記載して下さい。
- 当申込書の提出により、本書記載にあるプライバシーポリシーに同意頂いたものとします。

【記入の際の注意】

鉛筆・フリクションボール等消えるペンでの記入は不可!

2023年
登録電気工事基幹技能者認定講習

実務経験証明書

<input type="checkbox"/> 電気工事業
<input checked="" type="checkbox"/> 電気通信工事業
<input type="checkbox"/> 電気工事業 電気通信工事業

に係る受講申込者の実務経験の内容は、下記の通りであることを証明します。

必ずを記入する

証明者住所 東京都港区芝公園 4-2-8 代表者印の押し忘れ注意!
 所属企業名 (株)未来通信
 代表者氏名 取締役社長 信勝 通



2023年 8月 2日

受講申込者の氏名	電信 次郎	証明者との関係	社長と社員
所属企業名	(株)未来通信	生年月日	昭和52年10月10日

職長欄	工事名称	作業内容		実務経験年数
	吉田ビルリニューアル弱電設備工事	現場施工	電 <input checked="" type="radio"/> 通	H12年1月～H12年12月 (1年 ヶ月)
	東南駅前ビルテレビ共聴設備増設工事	現場施工	電 <input checked="" type="radio"/> 通	H13年2月～H14年3月 (1年 2ヶ月)
	南北自動車道 南西TB～北東TB間通信線路工事	現場施工	電 <input checked="" type="radio"/> 通	H14年4月～H14年12月 (年 9ヶ月)
	平成15年度 千葉国道道路情報センター設備改修工事	現場施工	電 <input checked="" type="radio"/> 通	H15年1月～H15年10月 (年 10ヶ月)
	千葉県発注 平成16年度千葉総合庁舎テレビ共聴設備改修工事	現場施工	電 <input checked="" type="radio"/> 通	H16年1月～H17年9月 (1年 9ヶ月)
	鹿島公産商業ビル新築工事の内拡声装置設備工事	現場施工	電 <input checked="" type="radio"/> 通	H17年11月～H18年3月 (年 5ヶ月)
	つくば商工会議所増改修工事の内情報表示装置工事	現場施工	電 <input checked="" type="radio"/> 通	H18年4月～H18年12月 (年 9ヶ月)
	日本工科大10号館新築工事の内光ファイバー布設工事	現場施工	電 <input checked="" type="radio"/> 通	H19年1月～H19年5月 (年 5ヶ月)
	JR駅舎弱電設備工事	現場施工	電 <input checked="" type="radio"/> 通	H19年6月～H19年10月 (年 5ヶ月)
	竜ヶ崎工業新築工事の内CATV工事	現場施工	電 <input checked="" type="radio"/> 通	H19年11月～H20年2月 (年 4ヶ月)

「通」に○印を必ずつける!
両方に 印をつけると実務経験年数には計算されません。

「実務経験証明書」用紙は、書式2と書式4を必ず使ってください。
 用紙の欄が足りないときは、書式3の用紙をコピーしてください。

[転職分を含めて経験が10年の方]
 転職を含めて経験が10年の方は、前の会社の代表者証明は必要ありません。
 転職前・現在いる会社の実務経験年数を合算して記入し、現在の事業主に証明してもらう。

工事名称は、工事内容が具体的にわかるように正確に記載してください。

各工事の工期で始期と終期が重複する際は、どちらかに入れて計算し、重複のないように記載し、計算すること。

職長欄	工事名称	作業内容			実務経験年数
	古屋鉄工本社新築工事の内通信設備工事	現場施工	電	通	H20年 4月～H20年 9月 (年 6ヶ月)
職長	吉田工業工場棟監視カメラ装置増設工事	現場施工	電	通	H20年 10月～H21年 3月 (年 6ヶ月)
職長	三菱制御電気工事の内弱电設備増設工事	現場施工	電	通	H25年 4月～H25年 12月 (年 9ヶ月)
職長	平成26年度赤坂国道通信設備工事	現場施工	電	通	H26年 2月～H26年 6月 (年 5ヶ月)
職長	赤坂市地上デジタル放送受信設備工事	現場施工	電	通	H26年 7月～H27年 3月 (年 9ヶ月)
職長	水戸大学大学院棟CATV電話設備工事	現場施工	電	通	H27年 4月～H28年 3月 (1年 ヶ月)
職長	H30年度首都高速監視カメラ設備設置工事	現場施工	電	通	H30年 4月～H31年 3月 (1年 ヶ月)
職長	上野ビル電話LAN設備リニューアル工事	現場施工	電	通	R01年 10月～R02年 9月 (1年 ヶ月)
職長	米沢ビル新築工事に伴う拡声情報表示装置工事	現場施工	電	通	R03年 1月～R03年 6月 (年 6ヶ月)
職長	R3年度KDDI携帯電話基地局設置工事	現場施工	電	通	R03年 7月～R03年 12月 (年 6ヶ月)
職長	R4年度NTTドコモ携帯電話基地局設置工事	現場施工	電	通	R04年 1月～R04年 12月 (1年 ヶ月)
			電	通	年 月～ 年 月 (年 ヶ月)
			電	通	年 月～ 年 月 (年 ヶ月)
実務経験年数合計	電気工事業	年 月(うち職長経験 年 月)			
	電気通信工事業	15年 9ヶ月(うち職長経験 7年 5ヶ月)			

職長修了証取得後(班長、作業長でもよい)作業した場合は必ず「職長」として記入をする。

◆記入上の注意

1. 実務
2. 実務業の上記
3. 従事した工事が電気工事の物口「電」を、電気通信工事の物口「通」を、両方の物口を併記して四つで「電通」を記入してください。同時期の同一工事を電気と通信の両工事の実務経験とすることはできません。
4. 職長として従事した工事は、職長欄に「職長」と記入して下さい。
5. 業種ごとに実務経験の合計と職長経験の合計を記入して下さい。

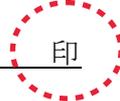
【注意】「経験年数・職長年数」は記入いただいた工事の合計年数を記入してください。
(実務・職長経験が受講条件を満たしていても、工事名称等の実務経験年数とあわなければ 審査はとおりません)

◆申請者(受講者)本人が事業主の場合は、誓約書欄に署名、捺印して下さい。

【誓約書】

この証明事項に事実と相違がある場合には、本講習を修了したことを取り消されても異存のないことを誓約いたします。

誓約者名



受講者が事業主本人(一人親方)の場合は記名・捺印が必要です。

資格の証明

第1種電気工事士免状(写し)貼付欄

(縮小コピーして貼り付けて下さい。)

※写真・登録番号・定期講習受講記録のページ迄全て

工事士免状は、写真・登録番号・(5年更新を受けている方は)定期講習受講印が押印されているところまで全てコピーして貼付して下さい。

認定電気工事従事者認定証(写し)貼付欄

(貼付欄に収まらない時は、縮小コピーして貼り付けて下さい。)

※実務経験証明書に、第一種電気工事士**取得前**に

「自家用電気工作物」の600V以下の作業をした場合は

『認定電気工事従事者認定証』の貼付が必要

※該当しない方は貼付不要

職長教育修了証(写し)貼付欄

(縮小コピーして貼り付けて下さい。)

※受講

※労働

証明

1. 職長教育修了証は交付日から講習申込日までに3年以上が必要

2. 職長のための「リスクアセスメント教育」だけでは『不可』

3. 安全衛生責任者教育修了証だけでは『不可』

4. 「労働安全衛生法第60条による建設業の・・・」又は「労働安全衛生法施行規則第40条による・・・(12時間講習)」は『OK』

疑問のある方は必ずお問合せください。

職長教育修了証に「第60条又は第40条」の記載がない場合は、発行元に建設業の職長教育である内容の証明書を添付してください。

証明書発行が無理な場合は、職長修了証貼付後、余白に確認内容を記入
「発行元に建設業の職長教育と確認済み」

確認日

【振込日注意】
7月20日以降受付印有効(7月19日以前の受付印無効)
 受講料は募集受付期間開始後にお振込みください。
 期間外(事前)の振込みはおやめください。

受講料振込み証明書貼付欄

郵便局または取扱金融機関で受講料の払込み・振込みを済ませた「受領証」の写しを全面的りづけし、貼り付けして下さい。

受講料は 18,840 円です。
 (講習免除者は 9,420 円)

注) 7月20日以降の受付印有効
(7月19日以前の受付印無効)

◆振込み先

受講料は、次の口座に振込み下さい。*振込

・ゆうちょ銀行 窓口で払込みの場合 ()
 00100-6-399328 一般社団法人日本電設工業協会

・ゆうちょ銀行以外^の金融機関から振込みの場合
 金融機関 (コード) ゆうちょ銀行 (No.9900)
 店名[カナ] (コード) 〇一九店[ゼロイチキユウ店] (No.019)
 預金種類/口座番号 当座 0399328
 口座名[カナ] 一般社団法人日本電設工業協会
 [シヤ)ニホンデンセツコウギョウキョウカイ]

振込受領証の**コピー**をのり付けして下さい。

【会社名での振込の場合】

会社名と合わせて受講者の氏名も余白に記入して下さい。
(複数名の申込みの場合も受講者氏名を余白に入れる)

注)2023年7月20日以降に振込みください。(7月19日以前の振込みは無効)

◆返金口座

受講料を返金するため、お取引銀行(返金口座)を必ずご記入下さい。

銀行名	銀行
支店名	支店/本店
預金種類	
口座番号	
フリガナ 口座名義	

ネットバンクからのお振込みの場合

振込後の終了画面を印刷し、貼付せず同封してお申し込みください。

氏名: _____ (/) ページ

講習免除の証明

講習免除証明書貼付欄

2023年の登録電気工事基幹技能者 認定講習の講義の受講を免除できる証明書は以下のいずれかのみです。

- イ) 「2022・2023年 講習免除証明書」写し
- ロ) 「2023・2024年 講習免除証明書」写し
- ハ) 「講習免除証明書(更新申請者)」原紙
 - ・発行日が 2023年1月1日～2023年7月31日 であること。
 - ・写しは認められません。

更新申請者(申請B申込者)の講習免除証明書は原紙を貼付する。

- *イ) 「2022・2023年 講習免除証明書」は2021年に登録電気工事基幹技能者 認定講習を受講し、修了試験に不合格となった方に発行されております。
- *ロ) 「2023・2024年 講習免除証明書」は2022年に登録電気工事基幹技能者 認定講習を受講し、修了試験に不合格となった方に発行されております。
- *ハ) 「講習免除証明書(更新申請者)」は、登録電気工事基幹技能者 修了証の更新申請が遅れた方で、有効期限を6ヶ月経過後、1年未満のうちに講習免除の申請があった方に発行されております。但し、講習免除が認められているのは、証明書発行後1年以内の認定講習のみです。

登録基幹技能者データベースの情報公開に係る同意書

登録基幹技能者データベースについて

登録電気工事基幹技能者 講習の修了試験に合格し、登録電気工事基幹技能者になられた者については、(一財)建設業振興基金が管理運営する登録基幹技能者データベースにご自身の情報が登録されます。

また、発注者(公共機関等)や総合建設業者等に対する登録基幹技能者のPR及び活用促進を目的に、有資格者を「登録基幹技能者データベース」のHPにて照会しております。

▶公開する情報

氏名(カナ氏名含む)・生年月日・修了証番号・修了年月日・更新回数 (必須項目)

勤務先名・勤務先所在地、勤務先電話番号・勤務先FAX番号 (任意項目)

※任意項目のみ非公開とする場合には、合格通知受領時にご連絡下さい。

▶希望による拡張公開情報

希望により、登録者自身の写真、実務経験、取得資格や表彰歴、PRコメント等のより詳細な自己PRも行えます。

登録基幹技能者データベースでご自身の情報を公開することについてご同意頂ける場合には「同意する」を、ご同意いただけない場合は本データベースでは情報の登録・管理するのみとし、情報の公開は致しませんので、「同意しない」を○で囲み、署名(自署)をお願いいたします。

尚、試験の結果不合格になった場合この署名は無効になります。

私は今回の登録電気工事基幹技能者 講習の試験に合格し、(一財)建設業振興基金が管理運営する「登録基幹技能者データベース」に登録する情報を公開することに

- ・ 同意します
- ・ 同意しません

令和 年 月 日

氏 名 _____

無記名の場合は「同意しません」とし登録基幹技能者データベースの情報公開はしません。